令和6年12月定例会 警察危機管理防災委員会の概要

日時 令和6年12月16日(月) 開会 午前10時

閉会 午前11時44分

場所 第7委員会室

出席委員 柿沼貴志委員長

橋詰昌児副委員長

渋谷真実子委員、金子裕太委員、岡田静佳委員、宇田川幸夫委員、 齊藤邦明委員、神尾高善委員、武田和浩委員、戸野部直乃委員、

岡村ゆり子委員

欠席委員 なし

説明者 [警察本部関係]

加村啓二公安委員会委員長、野井祐一警察本部長、上條浩一総務部長、羽石千代警務部長、橋本昭文生活安全部長、坂本雅彦地域部長、菅谷大岳刑事部長、荻野長武交通部長、大塚健滋警備部長、原政樹財務局長、三浦孝一監査官室長、新井誠警務課長、菅原誠総務課長、芦澤保弘会計課長、草野恵正生活安全総務課長、齋藤健一地域総務課長、西村淳治刑事総務課長、高橋和十四組織犯罪対策総務課長、小林直之交通総務課長、小野瀬孝交通規制課長、本多一美運転免許課長、山上博基公安第一課長

[危機管理防災部関係]

犬飼典久危機管理防災部長、鶴見恒危機管理防災部副部長 黒澤努危機管理課長、出井正美消防課長、関口大樹災害対策課長、 石曽根祥子化学保安課長、濱崎勝志危機管理課危機対策幹

会議に付した事件並びに審査結果

1 議案

議案番号	件	名	結 果
第121号	令和6年度埼玉県一般会計補正予算 警察本部関係	算(第3号)のうち	原案可決
第134号	埼玉県公安委員会等が行う事務に の一部を改正する条例	関する手数料条例	原案可決
第155号	令和6年度埼玉県一般会計補正予算 警察本部関係及び危機管理防災部関		原案可決

2 請願

なし

報告事項 (危機管理防災部関係)

埼玉県消防広域化推進計画改定(案)の概要について

【付託議案に対する質疑 (警察本部関係)】 金子委員

- 1 121号議案の、信号機の電球の交換のところであるが、こちら電気代高騰のためということで議案書には書いてあるが、昨年の9月議会で渡辺聡一郎議員が質問していた白熱灯の生産に伴うものというのも絡んできているのかどうか。白熱灯が2028年3月末で生産終了するというところもあってのものなのかというところを質問させていただきたい。それに伴って、これをやることによって、どの程度交換率が向上するのか伺う。また、どれくらい電気料金が下がるのかというところに関しても質問する。
- 2 134号議案の免許証のところであるが、こちらオンラインでの整備、オンラインでの受講ができるということになってくるかと思うが、このオンラインの実際どういう体制が組まれて、警察庁で一括してオンラインの録画か何かをやるのか、それとも県警察として時間を指定して、1日に何コマやるとかそういうような形になるのかどうか。県民がオンラインを受けるときの一連の流れを説明いただきたい。
- 3 マイナ免許証になった場合、違反履歴等とかというこれもマイナポータルで見られる ようになるのか、この辺の詳しい情報を教えていただければと思う。

交通規制課長

1 定周期式の信号機が設置された交差点をLED化すると、1か月当たりの電気料が約4,000円から2,000円の半額となる。車両用灯器については、令和6年度に3,300灯、こちらを令和7年度以降は、年間3,540灯LED化する計画である。令和10年度中にはLED化が完了する予定となっている。令和6年度のLED化予定である550交差点を実施すると、1か月当たり約110万円、1年間当たり約1,320万円の削減となる。白熱電球製造の終了となる令和9年度末時点では、約2,700灯が未完了となるが、翌年度中にはLED化が完了する予定であるので、白熱電球を追加購入する等の対応は特段不要になると考えている。歩行者用灯器については、現在、白熱電球式のものを全てLED電球に交換し、電気料の削減を図っており、更新は保守点検結果に基づき、灯器の錆や亀裂等の劣化が見られるものを対象に実施している。

運転免許課長

- 2 マイナンバーの外見上、変わらないということで、確認の方法であるが、マイナ免許証を保有する方には、マイナポータルを経由して、免許情報を確認する方法のほか、警察署において開発をしているスマートフォン・パソコン用の読み取りアプリを使用して、マイナ免許証のICチップに記録された免許情報を端末に生じさせることにより、自ら免許情報を確認することとなっている。また、オンライン講習とはどのようなものかということに対しては、運転免許の更新時の講習をオンライン化して、自宅のパソコン・スマートフォンで受講できるため、運転免許センターや警察署の窓口での混雑緩和となるほか、利用者にとっても大きな利点となるものである。これについては、来年3月24日から全国で運用することになっている。流れとしては、スマートフォン・パソコン等で専用サイトにアクセスをしていただき、その場で講習動画を視聴していただき、その後免許センター等にお越しをして申請書の提出と共に免許証提出をして、端末で受講状況を確認して、そのようになっている。
- 3 違反履歴のことについては、今これはちょっと分からないが、警察庁で今検討してい

るということでそのように回答する。

金子委員

今の免許証のところであるが、オンラインの利点みたいなところは説明あったかと思うが、さっき質問したように、警察庁で動画を作って一括配信なのか、県警察として体制を整えなくちゃいけないのか、その辺というのがちょっと分からなかったので。

運転免許課長

これについては、県警察で作成をしており、警察庁で作成したものと県警察で作成した もの両方を録画したものを流す方向である。

渋谷委員

私からは、マイナ免許証並び、警察官の給与費のことについて質問する。

- 1 マイナ免許証は新規更新価格が割安であったり、優良運転者はオンライン講習が可能であったり、住所変更の際、警察への届出不要になることは、忙しい現代人にとっては非常にメリットが大きいと改めて感じた。基本免許情報は、マイナンバーカードのICチップ内に記録されるため、暗証番号を専用端末に打ち込む必要があるそうである。免許所持者も高齢者が今後増加していくことから、暗証番号をうっかり忘れてしまうこともあると思う。そこで、スマホやパソコンをお持ちでない方でも、マイナ免許証情報はどのように確認するのか伺う。
- 2 もし、マイナ免許証を紛失した場合、従来の免許証を持ち合わせていればいいが、マイナンバーカードのみの所持である場合、再発行手続は1か月ほどかかってしまうという話を聞いたこともある。再発行までの間に運転がどうしても必要な方はどうすればいいのか、そのことについて伺う。
- 3 今回の給与改定では、若年層に重点を置いたとあるそうだが、例えば大卒警察官の初 任給はどれぐらい上がり、幾らになるのか伺う。
- 4 今年度任官された警察官の初任給を下回ることなどはないか。民間企業では人材確保 の激化により、既存の若手社員により、新入社員の給与が高い給与逆転現象が問題視さ れているそうである。県民の安全安心を守るためにも、全ての警察官のモチベーション は大変重要だと思う。そのためにも給与体系に関する県の方針を伺う。

運転免許課長

- 1 マイナンバーカードに特定免許情報を記録する際に、運転免許情報記録確認書という ものが交付をされるため、これにより免許情報を確認していただくことが可能である。 また、運転免許センターや各警察署において、本人確認を行った上で、免許情報につい て教示するということも可能である。
- 2 マイナ免許証を希望される方は、マイナンバーカードの再交付の手続を終えた後に、 免許情報を書き込む必要性があるので、免許センター等にお越ししていただくこととな る。また、すぐに運転をする必要がある場合は、免許センター等にお越しをしていただ き、通常の運転免許証の再交付の手続をしていただければ、運転免許証は即日交付され ることとなる。

警務課長

3 大卒の警察官の初任給であるが、新卒の方を想定すると、現行の234,600円か

ら26.800円増額して、261.400円となる。

4 今回の給与改定では、新規採用者の初任給だけではなく、全ての職員の給与が引き上がることとなるが、委員指摘の逆転現象が生じることのないような給与体系をとっている。

戸野部委員

私の方からも、免許証の条例改正の部分でお伺いする。さっき金子委員のところでもしかしたらお話しされていたような気もするが、マイナ免許証の更新のタイミングではない場合、マイナ免許証に切り替える場合、マイナポータルでできるようなお話が少しあったかと思うが、その際、両方持ちたい方はそのまま手数料を払えばいいのかと思うが、マイナ免許証のみの場合は、手元にある免許証というのはどうしていったらいいのかというところを、その際、また更新料が違うので、そこはどう判断していくのかというところを伺いたい。

運転免許課長

免許証であるが、マイナンバーに替えるときは、マイナ免許証にする場合は、今持っている運転免許証返納ということとなり、返すことになる。

戸野部委員

それは、マイナポータルで手続は可能で、結局返納する場合は窓口に出向かなくてはいけないということでよいか。

運転免許課長

窓口にお越しをしていただいてマイナポータル上ではなく、警察署若しくは運転免許センター等にお越しをしていただき、そのときに、次、免許情報を入れることとなるので、 一旦警察署の方にお越ししていただかないと手続はできないということとなる。

岡村委員

- 1 134号の手数料条例の一部を改正する条例についてであるが、資料の2の(2)の、 更新時の講習のこの金額についてであるが、優良と一般と500円と800円で変更が なくて、オンラインの方になると、新たに新設で200円がかかると。講習するのにこ んな金額が違うのだなというふうに思うが、この200円の内訳を教えていただきたい。
- 2 オンラインで講習を受けるので、そのお金をどうやって、更新にかかるお金を支払う のかということを教えていただければと思う。
- 3 埼玉は更新した後にすぐに免許証を頂けるという大変業務がスピーディーだと思うが、 実際にこのオンラインで講習を受けた後に新しい免許を取得するためには、また出向かなくてはもちろんいけないと思うが、その確認を含めてお願いする。

運転免許課長

1 オンライン講習の手数料200円の内訳であるが、これについては、運転免許証の手数料について、事務に関する実費を勘案して積算をしているものである。更新時講習に当たっては、更新時に教本を交付しており、オンライン講習でもあっても教本を交付する予定であるので、動画の作成費用であるだとか、あと更新を行っていく予定である。オンラインの講習手数料については、これらを勘案して積算しているものである。

- 2 オンライン講習を受けた後の警察署等での支払いの手続であるが、オンライン講習運用開始後においても、現状と同じく運転免許センター等で手続が必要となる。
- 3 更新時講習がオンライン化されて自宅等で受講が可能となる一方で、免許証を更新するときは、視力検査であるだとか、あと適性検査、写真撮影等を行う必要があるため、現状と同じく運転免許センター等に来所をしていただいて、手続をしていただく必要がある。これについても、運転免許の更新事務は全国に統一されたものであるので、今後も警察庁等連携し適正な運営を図っていきたいと思っている。

委員長

受取はそこでということでよいか。

運転免許課長

そのとおりである。警察署にお越ししていただいたときに、その手数料をお支払いする ことになる。

岡村委員

結局オンラインで受けても、行かなくてはいけないということで、実際に免許の更新は自分の誕生日から前後の1か月の間ということであるが、オンラインで講習を受けて、そこの手続にお金を支払う、また新たな免許証を交付していただく期間というのは、例えばオンラインを受けて、1週間以内に行かなくてはいけないのか、その期間内で更新の期間内であればいいのかお願いする。

運転免許課長

オンライン講習を受けていただいて、自分の更新の前に受けていただくと思うが、そのときは受けていただいた後、更新となったときに警察署の方に来ていただき、その場でお支払いをしていただくことということになる。

委員長

期間はどのくらいの期間。期間を教えていただきたい。

運転免許課長

更新期間にあっては運転免許証の自分の誕生日の前後 1 か月の間に来ていただき、更新 をすることになる。

委員長

その更新の、オンラインで更新の許可が下りてから行かなければならない期間である。

運転免許課長

オンライン講習の動画の視聴は、更新時期間中の任意のタイミングで視聴とすることができる。

岡村委員

すみません、私の伺い方が悪くて申し訳なかったが、免許の更新の期間にオンラインで 更新のための研修を受けていただく。その研修をオンラインで研修を受けて、どのくらい の期間で出向いて支払って免許を頂くという、その期間が設けられているのかということである。

運転免許課長

自分の更新の期間中であれば、いつ来ていただいても可能である。

武田委員

議案第134号のこの免許関係で質問をさせていただく。

- 1 この免許の形態が3種類になっているわけであるが、これいきなり当日窓口で説明すると、迷って窓口混雑を招いて業務停滞に至るかと思うが、その辺の解決はどのように 図っていくのか
- 2 マイナ免許証のみしか持っていない方が交通違反をしたときに、全部の警官が端末み たいなものを持っていて、免許証の情報が得られるような体制になっているのか。

運転免許課長

- 1 運転免許証の持ち方については、運転免許センターとの窓口において保有形態の意思確認をして申請することを想定している。窓口等の停滞については、運転免許証の申請自動受付機の装置の導入により、業務の効率化が図られており、業務の停滞は生じないものと承知をしている。また、窓口等で運転免許証の持ち方を迅速に決めていただくために、更新時のはがきであるだとか、あとホームページにあるだとかによって事前に運転免許証の持ち方について、周知を図っていきたいと思っているところである。
- 2 警察官がマイナ免許証の提示を受けた際は、警察官等が所持をしている携帯端末を用いて、マイナ免許証のICチップに記録されてある免許情報を読み取ることにより、免許情報を確認する予定である。

【付託議案に対する討論】

なし